

令和 8 年 1 月 23 日

報道機関 各位

**山陰研究交流会**  
**「山陰のこれからの観光について—日本遺産の活用と観光のまなざし」開催**

◆本件のポイント

- ・山陰研究交流会では、毎月 1 テーマずつ、地域研究の成果をわかりやすくご紹介する
- ・文化庁が認定する「日本遺産」について、「世界遺産」との違いなど、その制度についてわかりやすく解説する
- ・具体的に島根県のふたつの事例(出雲市、大田市)を取り上げ、「日本遺産」が観光の場でどのように活用されているのか、その実践例を取り上げる

◆本件の概要

2025 年度山陰研究交流会を開催します。毎月 1 テーマずつ、地域研究の成果をわかりやすくご紹介していきます。1 月は福井 栄二郎 准教授(島根大学法文学部)が「山陰のこれからの観光について—日本遺産の活用と観光のまなざし」をテーマに発表いたします。

「日本遺産」は文化庁が認定する制度で、地域の文化財を保護するだけでなく、積極的に活用するためのものです。そのために各地域の魅力や特色を「ストーリー」としてまとめ上げ、国内外に発信することが求められます。本発表では、出雲市、大田市の事例を取り上げ、いかに地域の実践に活用されているのかを紹介します。

◆概要内容

【日 時】令和8(2026)年1月 28 日(水) 16:00~17:30

【テ マ】山陰のこれからの観光について—日本遺産の活用と観光のまなざし

【発 表 者】福井 栄二郎 准教授(島根大学法文学部)

【開催方法】ZOOM によるオンライン(要事前申込み)

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学 法文学部 山陰研究センター

電 話:0852-32-9833 / メール:admin-src[at]soc.shimane-u.ac.jp

案内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2025091700019/>



◇その他

取材につきましてはミーティング URL をご案内いたしますので連絡先にご連絡ください。  
開催前日や対面での取材につきましても対応いたします。

【添付資料： ■あり( 1 枚 )】

# 2025年度 山陰研究交流会

山陰研究交流会では、現時点での研究成果を報告し、それとともに議論を行うことで、プロジェクト間の研究交流を推進しています。同時に、分かりやすく焦点を絞った話をしていただくことで、専門分野外の人にも研究内容について理解を深めてもらうことを目的として、継続的に開催するものです。

参加無料です。どなたでも、お気軽にご参加ください。

オンライン  
開催

## 【2025年度開催スケジュール】

10/22  
水曜日

### 江戸時代後期の石見国銀山附幕領における 銭遣い—計算基準貨幣としての「通用銭」—

小林 准士 (島根大学法文学部)

2111 山陰研究共同プロジェクト「石見銀山附幕領における銀山・銅山・鉄山  
—非農業世界からみた「幕領社会論」の構築—」

11/26  
水曜日

### 幕末大社のうた詠む夫婦 —手錢有鞆とさの子の文事—

野本 瑠美 (島根大学法文学部)

2501 山陰研究プロジェクト「山陰の文学・歴史関係資料の基礎研究と公開方法の  
開発に関するプロジェクト」

12/24  
水曜日

### 中国山地における地域資源循環の把握

大津 裕貴 氏 (にちなん中国山地林業アカデミー)

2402 山陰研究プロジェクト「持続可能な地域発展のためのボトムアップ型政策に  
関する研究」

※本会のみ開催時間が【17:15～18:30】となります。ご留意ください。

2026  
1/28  
水曜日

### 山陰のこれからの観光について

福井 栄二郎 (島根大学法文学部)

2301 山陰研究プロジェクト「アフターコロナの社会動態とその課題  
—いま、ここにしかない山陰地域の「観光」を考える」

#### 開催時間

各回共通 16:00～17:30

12/24(水)  
のみ 17:15～18:30

#### 参加方法

ホームページ掲載の申込み方法をお読みいただき、各開催日の前日までにお申込み下さい。

##### ●山陰研究交流会 オンライン参加時の注意事項

<https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2020101900014/>

##### ●2025年度山陰研究交流会案内ページ

<https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2025091700019/>



<申込・お問い合わせ先>

島根大学法文学部山陰研究センター

0852-32-9833

admin-src@soc.shimane-u.ac.jp